



2025年9月17日

各 位

会 社 名 株式会社UNIVA・Oakホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長グループCEO 稲葉 秀二
(コード：3113 東証スタンダード)
問合せ先 取締役グループCFO 作田 陽介
(TEL. 03-6682-9884)

株式会社ノースエナジーによる北海道ニセコ町太陽光発電設備等導入事業受託に関するお知らせ ～公共事業における初の垂直型両面太陽光設備（実装建設）受託～

北海道を中心に再生可能エネルギー事業を開発から管理までワンストップで手掛ける当社連結子会社・株式会社ノースエナジー（本社：北海道札幌市、代表者：代表取締役社長 小坂榮成、以下「ノースエナジー」といいます。）は、この度、北海道ニセコ町における学校給食センター太陽光発電設備等導入事業（公募型プロポーザル、以下「本事業」といいます。）を受託し、去る9月5日ニセコ町との間で正式契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件は、ノースエナジーがこれまで精力的に展開してきた垂直型両面太陽光発電設備販売の公共事業における初の受託案件（実装建設案件）となります。

記

1. ノースエナジーの事業展開

ノースエナジー社は、2014年の創業以降、FIT制度に基づく個人・法人投資家向けの太陽光発電設備販売を手掛け、FIT制度廃止以降は、「新電力会社向けNon-FIT発電設備」の建設・販売に軸足を移すと共に、近年においては自家消費型の太陽光発電設備の販売に参入する等、北海道を中心として太陽光発電事業の全国展開を図ってきた先行者メリットと実績を最大限活かし、積極的かつ着実にその事業領域を拡げております。

2. 垂直型両面太陽光発電事業の概要と取組み

垂直型両面太陽光設備（以下「垂直型ソーラーパネル」といいます。）は、従来の野立て型ソーラーパネルと比して、①降雪による損壊の懸念が払拭されること、②雪に覆われないことから、冬季において雪の反射（アルベド効果）もあり安定的な発電が可能なこと（従来型と比して1.2～1.3倍の発電量が見込まれます）、③小規模スペースにおいても設置が可能であること、④両面パネルを実現することにより電力需要の多い朝・夕においても発電が可能であること、など画期的なメリットと優位性を有しております。

ノースエナジーは、前述の事業展開の一環として、斯かるメリットと優位性に着目し、一昨年来、道内の行政と連携のうえ降雪地域への垂直型ソーラーパネルの実証実験を推進し、その事業化の目途を立ててまいりました。そして、昨年6月にノースエナジーが事業化に向けて企画した実用型垂直型両面太陽光発電設備事業がジェトロの「対内直接投資促進事業費補助金」の対象として採択され、また昨年12月には、これを側面支援する形で、当社グループで同じく再生可能エネルギー事業を担う株式会社ユニヴァ・エナジーがドイツの垂直設置型太陽光発電の先駆けであるNext2Sun AG及びその本邦子会社であるSuichoku Solar株式会社との間で、北海道内における農耕地での建設にも適した垂直型両面太陽光発電システムの普及に関して相互に協力して推進していく旨の基本合意を

締結するなど、当社グループは総力をあげて垂直型両面太陽光発電設備事業の展開に向けて取り組んでまいりました。

斯かる状況下、ノースエナジーは、販売を手掛ける垂直型ソーラーパネルを「ゆきんこソーラー」と銘打ち、道内において公共事業・一般事業両面で精力的に販売活動を展開しております。本事業は基本条件として「形状について垂直型（両面）」であることが付され、ノースエナジーが進めてまいりましたこうした展開に合致するものであり、また、これまで共同で実施してまいりました垂直型両面太陽光発電設備事業にかかわる実証実験での連携も含め、道内行政との間で構築してまいりました信頼関係も奏功し受託に至ったものと考えております。

3. 本事業の概要

(1) 事業名

ニセコ町学校給食センター太陽光発電設備等導入事業

(2) 事業目的

ニセコ町学校給食センターに太陽光発電設備等を導入し、公共施設における二酸化炭素排出量の削減を図ると同時に災害時の電力確保を目的とする。

(3) 設置場所

ニセコ町学校給食センター

(4) 事業期間

契約日より2026年2月27日

(5) 本事業に関する基本条件（抄）

形状については垂直型（両面）とする。

※詳細につきましては、以下のニセコ町HP記事を参照ください。

<https://www.town.niseko.lg.jp/boshu/11406/>

4. 本件を踏まえたノースエナジー社の今後の事業展開と見通し

2030年のCO₂50%削減や2050年カーボンニュートラルの実現といった脱炭素社会への変革の動きの中で、ノースエナジーは当社グループの再生可能エネルギー事業を担う中核子会社として重要な一翼を担っており、その位置づけは当社グループのサステナブル経営を支える観点から一層増していくものと考えております。

そして斯かる状況下、本事業の受託は、ノースエナジーの今後のさらなる成長と飛躍並びに当社グループの価値増大に向けて大きな後押しになり、また豪雪地域での再生可能エネルギー普及に大きく寄与するものと考えております。

ノースエナジーは、再生可能エネルギーのポテンシャルが高い北海道に拠点を置き、垂直型両面太陽光発電設備事業における先行者メリットを最大限活かし、旁、今後は太陽光発電に限らず、また北海道に限らず全国的展開で、様々な可能性に挑戦しカーボンフリーな社会の実現に貢献してまいります。

5. 今後の見通し

本件による連結業績への影響については軽微と見込んでおります。

当社は、太陽光発電事業を通じて脱炭素社会の実現に貢献するノースエナジー社を、UNIVA・Oakグループの主要事業の1つである再生可能エネルギー事業を担う中核子会社と位置づけ、引き続きその企業価値増大に向けて強力に支援してまいります。